

競技上の確認事項

競技委員会

1. 競技の進行について

- ・ 競技開始時刻等は別紙「大会日程」に記載の通りとする。
- ・ 設定時刻はプロトコール開始時刻とする。設定時刻を早めることはない。
- ・ 次の試合の設定時刻までに5分間の合同練習時間がとれない場合は、プロトコール開始時刻を遅らせる。その場合、コートチェックと審判団の準備が整い、次の試合のチームがフロアへの入場を完了した時点から5分間の合同練習後、プロトコールを開始する。
- ・ なお、プロトコール開始時刻は競技役員が通告する。
- ・ 試合が連続する場合(第3日目A1とA2のみ)は30分の間をとる。試合設定時刻までに30分の間がとれる場合は設定時刻通り、とれない場合は30分の間をとった後にプロトコールをする。
- ・ 第3日目の試合は、AコートとBコートのプロトコール時刻をそろえる。なお、プロトコール時刻は進行の遅いコートに合わせる。
- ・ 原則として選手はフロアに待機することはできない。次の試合を行うチームのフロアへの立ち入りは競技役員の手配に従って行うものとする。

大仙市ふれあい体育館	: フェンス外側が狭いため、選手は待機することはできない。選手は指示があるまでフロア外の所定の場所で待機する。
サンスポーツランド協和体育館	: 次の試合を行うチームのみ、フェンス外側に待機することができる。

2. 競技の方法について

- ・ 競技は2016年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- ・ すべての試合において、WTOを採用する。
- ・ すべての試合は、トーナメント方式による3セットマッチとする。
- ・ 試合球は、男子がミカサ社製カラーボール(MVA400)、女子がモルテン社製カラーボール(V4M5000)とする。

3. 「エントリー変更用紙」および「コーチ確認書」の提出について

- ・ エントリー変更をする場合は「エントリー変更用紙」を提出すること。
 - ・ 外部コーチをベンチに入れる場合は「コーチ確認書」を提出すること。
 - ・ 上記2種類の書類は、どちらも大会初日(7/16)代表者会議終了までに提出すること。
- 提出は、女子(大仙市ふれあい体育館)は、加賀谷卓(競技委員長:秋田東)
男子(サンスポーツランド協和体育館)は、畠山将之(競技副委員長:鷹巣)まで。

4. 練習について

- ・ 朝のコート練習割当は、別紙「大会日程」に記載された通りとする。割当時間中はフリーゾーンでの割当チーム以外の練習を不可とする。
- ・ 試合間の練習は、次の試合を行うチームのみ、当該コートで以下の通りの練習を認める。

- | |
|--|
| (1) 設定時刻まで時間がある場合は設定時刻まで、設定時刻を過ぎている場合は5分間。 |
| (2) 大仙市ふれあい体育館は、ボールが散らばらないよう配慮し、パス程度の練習。
サンスポーツランド協和体育館は、ネットを使った練習をしてもよい。当該チームで話し合っ |

- ・ セット間やタイムアウト間は、フロアでの練習は不可。
- ・ 廊下やロビー等、フロア以外でのボール使用は禁止する。
- ・ 練習会場は、大仙市ふれあい体育館で試合をするチームは仙北中学校体育館(2面)、サンスポーツランド協和体育館で試合をするチームは協和中学校体育館(2面)が使用できる。使用割当は別紙の通りとする。練習会場係の手配に従って安全に利用すること。

5. ワイピングについて

- ・ 試合中のワイピングは原則として選手が行う。チームは必要に応じてクイックモップをおくことができる。クイックモップについては別紙を参照のこと。
- ・ 各コートにモップを配置する。モップは公式練習後、タイムアウト間、セット間及び審判が危険と判断した場合にワイピングを行う。

6. その他

- ・ ベンチ及びフロアには、有効に登録された監督、コーチ、マネージャー(生徒)及び選手以外は入ることができない。ただし、教育的配慮により、公式練習以外の練習時にはベンチ入りしていない部員(生徒)が球拾い等のために入ることを認める。
- ・ 監督、コーチ、マネージャーは左胸部にマークを付けること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。
- ・ 監督、コーチは統一された服装でベンチに入ること。マナーについては十分留意すること。
- ・ ベンチには、試合に不要なものは一切持ち込まないこと。荷物はベンチの下や後方に整頓して置き、試合の妨げにならないようにすること。